

指導目標	情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解させ、情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するとともに効果的にコミュニケーションを行う能力を養い、情報社会に積極的に参画する態度を育てる。
------	--

教材	教科書：新・情報の科学（日本文教出版） 学習書：新・情報の科学（日本文教出版） レポート・学習ノート
----	--

レポート	全5回
面接指導	必要時間数：3時間
放送	なし
効果測定・試験	年度末試験（1月）

単位	3単位
評価	【①知識・技能】【②思考・判断・表現】【③主体的に学習に取り組む態度】について、レポート提出状況（提出期限）および各回評価、スクーリング出席状況（必要時間の出席充足）、放送視聴状況、実技試験、試験結果等を総合的に評価し、年度末に5段階で評定を決定します。

月	添削指導（レポート）		面接指導（スクーリング）		放送（NHK高校講座）		オンライン指導	到達度チェック 年度末試験
	回数提出期限	指導単元・項目	週	指導内容・学習活動等	回	内容	内容	内容・範囲
4			1	◆タイピング練習の習慣を身につける。 ◆正確なタイピングを心がけ、ミスタイピングを少なくする。 ※タイピング練習は1年間通して行い、第4回レポートにて結果の推移を報告する。			オリエンテーション (VOD) ・科目の学習概要の説明	
			2					
			3					
			4					
5			1	◆プログラミング言語（Javascript）の基本を習得する。 ◆アルゴリズムを工夫できるようにする。 ◆想定した動きをするプログラムが作成できる。			第1回レポート サポート動画 配信VOD orリアルタイム (仮)	
			2					
			3					
			4					
6	第1回 (6月10日)	・「e-typing」を使って、タイピング練習の習慣を身につける。 ・正確なタイピングを心がけ、ミスタイピングを少なくする。 ・JavaScriptの基本を修得する。 ・アルゴリズムを工夫できる。 ・想定した動きをするプログラムが作成できる。	1					
			2					
			3					
			4				第2回レポート サポート動画 配信VOD orリアルタイム (仮)	
			1					
			2					

7			3			
			4			
8			1	◆情報社会の中の様々なシステムについて説明できるようにする。		
			2	◆問題解決のための方法を学び、活躍できるようにする。		
8			3	◆応用的なプログラミングができるようにする。		
			4			
9			1			
			2			
9	第2回 (9月30日)	・情報社会の中のさまざまなシステムについて説明できる。 ・問題解決のための方法を学び、活用できる。	3			
			4			
10			1			
			2			
10			3	◆データベースに関する基礎的な知識について、説明できるようにする。		
			4	◆簡単なリレーショナルデータベースを作成できるようになる。 ※環境があれば、Microsoft Access等のDBMSを体験してもよいが、自宅での学習は表計算ソフトを使用して課題に取り組むため、スクリーングでも表計算ソフトを使用できることが望ましい。		
11			1			
			2			
11	第3回 (11月30日)	・データベースに関する基礎的な知識について、説明できる ・簡単なリレーショナルデータベースを作成できる	3	※「表計算ソフトの使い方」自体は学習の主題ではないが、最低限必要な関数等の説明は適宜行う。		
			4			
12			1	◆レポートでは、タイピング練習の結果の推移を報告する。		
			2	◆表計算ソフトを用いてグラフを作成し、グラフを画像化する。		
12			3	◆HTMLを用いてWebページとして報告書を完成させる。		
			4	(教科書では、「グループで問題解決を行う」ことがテーマとなっています。スクリーング会場によって		
					第3回レポート サポート動画 配信VOD orリアルタイム (仮)	
					第4回レポート サポート動画 配信VOD orリアルタイム (仮)	
						年度末到達度チェック (レポート第1回～第3回)

1	第4回 (1月10日)	<ul style="list-style-type: none"> 「e-typing 結果推移報告 Web ページ」の作成を通して、デジタルデータを統合的に扱うことができる Web ページの作成を通して、HTML 言語の基本的な記述ができる 	1 2	は、履修者数や実施回数にばらつきがあるためレポート課題としては取り上げていませんが、可能であれば p.160~163の課題解決ワークショップを適宜実施。)			
			3 4				
2			1 2	◆一般財団法人インターネット協会「インターネット ルール&マナー検定」(http://rm.iajapan.org/)のページにアクセスする。 ◆30問中27問正解で合格。不合格だった場合は、日をあけて再挑戦。			
	第5回 (2月20日)	<ul style="list-style-type: none"> 「インターネット ルール & マナー検定」問題にチャレンジする 	3 4				
3			1 2				
			3 4				